

《第3回》 特別支援教育の現状と課題

1. 開催日時 令和元年9月27日(火) 10:30~11:50
2. 開催場所 さいたま市立さくら草特別支援学校
3. 講師 埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター 教授 櫻井 康博 先生
4. 内容 特別支援教育の課題や現状について、理解を深める。

〈講義・演習〉(80分)

(1) 学校の課題

- ① 児童生徒について
- ② 児童生徒について
- ③ 保護者について
- ④ 特別支援教育の新しい施策

(2) 特別支援教育をどう推進するか

- ① 特別支援教育に関して信頼できる教員を育てる
- ② SAがやりがいのある学校
- ③ 外部の活用
- ④ 専門性の担保

5. 参加者 教育経営研修受講者(小・中・特) 37名

6. 参加者の主な感想

- 以前にも櫻井先生の講義をお聞きすることがあったが、学んだことを日々生かしているかとも反省した。特別支援教育について、さらに学びを深めたいと思った。学級にいる子どもたちを見る目をもっと養っていきたい。
- 発達障害の子どもが思っていたよりも多く、いろいろな場面で困難さを感じていること、また、その子どもたちには環境を整えることが一番大切であることを学ぶことができた。
- 発達障害のある子どもの対応について、今までも研修をしてきたが、担任として実践をしようと思っても難しいことを実感している。お話を伺って、改めて声掛けの方法や接し方を見直し、実践していきたいと思った。
- インクルーシブ教育をどのように進めていけばよいかについて、具体的な資料を通して知ることができた。教室環境や授業の進め方などについて、よりよい方法を考えていきたい。
- 「苦手なものを押し付ける指導を見直すべきではないか」というお話に、自分自身が「ハッ」とさせられた。今までの指導を見つめ直し、今後に生かしていきたい。
- 視覚優位、聴覚優位については、これまである程度意識して授業を進めてきたつもりであったが、まだまだ不十分であったことが分かった。発達障害を疑う保護者の対応についても考慮していきたいと感じた。

